

佳作

## 太鼓

茨城県 日立市立金沢小学校六年 早川 理菜

七月二十四日に、大みかの駅前で行なわれた『きゆうり祭り』に私は、妹と参加しました。このお祭りに参加するのは、もう六年目です。

なにに対しても、精一杯とりくまなければいけないし、感動をあたえるということは気持ちが入っていないければ伝わらないと思います。

私は、小さい時からお祭りになると、妹とおそろいのはつびを着たり、おそろいのはちまき、そして白いたびをはき、大きなおみこしの上に乗ったりしてお祭りが小さい時から、とても大好きです。夢は、たくさんのお客様の前で、太鼓を妹と披露することです。それが今では、いつもたくさんのお客様から拍手をいただけるまでになりました。ここまで叩けるようになるまでは、手にまめがでたり、冬などは手がひびわれて、テープングをしたりして努力してきました。痛くて叩けない時もあったけど、お祭りの近くになると妹とかがさず練習をしてきました。おじいちゃんも太鼓を叩けるので、毎週土曜日になると、一緒に練習をしたり、太鼓の音をテープに録音したりして、実際に叩く音と耳で聞く音のちがいを感じながら練習にとり入れてきました。何度も、何度も練習しても、完ペキにできなくてやめようと思ったこともあったけど、小さい時からの夢をあきらめるわけにはいかないと思い、がんばってきました。

私にとって太鼓は、なくてはならない物ですし、日本文化の太鼓という音色が私はとても大好きです。太鼓を叩いている私も心にひびき、太鼓を聞いているお客様も心にひびいて感動をあたえられるように一生懸命、努力していきたいと思います。

私も、つね日頃、先生から感動するお話や感動をあたえてもらっているので、私もいろいろな人に感動をあたえられるような人間になりたいです。

